

# 會 告

▲其後の入會者左の如し  
群馬縣北甘樂郡一ノ宮町鈴木方

贊 備後國東城町 並木富太郎

贊 小石川區林町十二番地 佐々木 眞太郎

贊 高知縣土佐郡下知村常盤町 鹽島 仁

贊 ▲賛助會員島村安三郎氏は、作品提出の上  
正會員に轉格せられたり。

寺田 季 一

□本年の夏期講習會は其一部を大阪附近に開き度、場處を住吉若くは尼ヶ崎とし、會期は八月初旬より凡そ二週間、課目は墨繪、水彩畫の類、會費は記名料講習料合せて貳圓若くは三圓程、これは講習生の數によつて今より定め難く候。

□本會に於て開催する講習會は、趣味の普及を第一の主旨と致候事ゆへ、講師の報酬などは元より豫算外、たゞ收支相償ふとを得ばそれにてよろしく候。併し大阪の如き遠地に出張致候には、費用も少なからず候間、若し會員あまりに少數なるときは開催致兼候。

□故に讀者諸君にして、出席御希望の方は正式の申込は後として、假申込書を本會へ宛て御送付有之度候。本會は其人員の數により開否を決し可申、開催と極まらば直ちに規定を發表可致候。

□講師たるべき人々は、常に多忙を極め居且夏期寫生旅行等を試むべき時間を割いて講習に從事致候事故、讀者諸君に於ても、なるべく憤發して出席有之度、地方より懇々來會せらるゝ諸君の爲めには、相當の宿泊所を本會に於て交渉致し置可申候。

□講習は個人々々に教授致候事故、極めて初學の人にて入會差支無之候。又講習會を終りし後は、水彩畫の展覽會を開くべき豫定にて、參考品等も多數持參致す筈に御座候。

□本會々員及本會地方講習生は記名料半額たるべく候

□豫て御賛助を仰ぎし水彩畫研究所は、いよく建築に着手致候。諸事結了後は更めて御報告可申上候。

□前號に御約束せし吉田博士のアルハンブラの話は、あまり水彩畫に關係無之候由に付掲載を見合せ申候。

□次號の口繪は丸山晚霞氏の信州の夏景色を御紹介可致候

# 問 に 答 ふ

注 水彩畫に關係あるものに限る◎の印は答一般に對する利益なきものは載せず

■一 佛語にて Laque Carmine Rose とあるは英譯せば何となるてせう 二 練製繪具の乾燥したるものは結局乾製繪具と同じきものですか(淺草小松) ◎一 ラツクカルミンローズはヤニがゝつたるカーマインの薄き色にて凡てラツクはヤニ色の類にてラツクロベルトが普通のビチユームに近き色にてラツクド、フェールがエローオークルのヤニがゝりたる色の由小林四弦氏より承り候、二 製法も異なる爲め練製の固くなりしのはポロ／＼になれど使用上に格別相違を認めず ■僕の所持する水彩畫筆は近頃筆の尖が四角に分れて反て使ひよくなつたが此筆は使用して害なきや(Y.S.生) ◎害なし 時にはヤスリ紙で尖をスリ切つて使ふとすらあり ■一 『みづゑ』廿三ギルチン筆の「橋」の圖中央の家や橋の傾きてゐるは何故が二 大下先生筆新月の描法を知りたし(赤坂虹影) ◎一 何故なるやを知らず多分あのやうな場處を寫せしならん 二 これは空の處と同しやうな色の羅紗紙に描きし者にて樹木や下の崖はライトレツドにオルトラマリンを混ぜた繪具月はレモンエロライトを濃くして後から點じたのであ



る■一 私に將來畫家を望むもの美術學校に入學するに白馬會と太平洋畫會と何れの研究所が勉強に都合よろしきや 二 ワツトマンに描くに浸み込みて繪具舒びず如何なる理由にや 三 大阪に開かる、講習會の規則は前回と同一なりや又自宅より通學してよろしきや(大阪乙部笑波)◎一 何れにても同じ そのうち本會研究所にても毎日墨繪の研究をなすべき設備をなすべし 二 保存法惡しきためなりワツトマンは濕氣を含むと斑點を生じ終に使用に耐えず紙に其製造年號を漉込みあるはこれが爲めなり、毎年四五月頃には其年製造のもの舶來すべし新に求むる時年號を見よ。保存法はプリキ又は紙筒にてもなるべく空氣の流通を防ぎて濕氣なき處に置くべし 三 大概同じなり本號の會告を見られよ 勿論自宅より通學して差支なし ■一 丸山先生のお話にインデゴの代用として日本畫の藍棒を用ひてもよいが冬は用ゐられぬとあり如何なる故にや 二 日本繪具のタイシヤ棒はライトレツドの代用とならぬにや(陸前YK生)◎冬は凝結して戸外にて使用不便なり室内にて溶き皿を暖ため用ふればよろし 二 代用とならぬ事もなければ不充分的なり ■一 肉筆臨本を額面として使用し得る様な風景畫を得らるゝや 二 大下丸山先生等の常に使用せらるゝ寫生箱ほどの位ひの大きさにや 三 昨暮上野で拜見した大下先

生の赤城の畫はあんな大きなものを山へ擔いて行かれたのですか 又は畫室にて延ばされたのですか(KT)◎一 額面となるべし 二 通常は九ツ切位ひの寫生箱、一ヶ所に滞在する時は二ツ切又は四ツ切位ひの大なる畫囊を携えるあり 三 あれ繪は赤城で九ツ切に充分精密に寫して來て畫室で仕上たものなり半切仕ひは現場にて仕上る事珍らからず ■一 小生は鷄をスケッチして畫きたるに極忠實の心組にて作製したるに標本的のものとなれり其後觀察を密にして筆を粗にせよとの故此度は龜をスケッチして少しく筆を粗にせしが忠實の點に足らざるやの感あり要するに水彩畫の本色と標本的との其間の消息那邊にありや 二 修養中は殊更に筆を粗にして水彩畫風にと思ふよりも矢張り標本的でも忠實に重きを置く方宜敷や追々研究を重ねれば目下標本的にても他日眞の水彩畫を畫き得るやうになりますか(兵庫MY生)◎一 二 共『みづゑ』二十二、二十三のイースト氏の寫生談、二十三の主觀と客觀等熟讀せらるれば自ら答を得べし ■大下先生の金港堂發行水彩畫帖第一輯の「箱根の殘雪」にて殘雪の山の前の赤色のものは山に候哉、また此圖は何日頃何處邊よりの寫生に候哉次に第二輯續刊の御心有るにや(礫川愛畫生)◎枯草の山なり、色刷の都合にて少しく赤過し様なり、時は一月初旬場處は小田原早川の橋の

邊より、次て續刊は書肆の都合次第、第二輯には未だ着手せず ■自畫石版の一切の必要具は何程なりや又石版用インキは素人にも使用し得べきや(一紅)◎凡そ二圓位、又インキは使用し能ふ

## 讀者の領分

### 注

長文及水彩畫に無關係のものは御覽り。◎印は編者の答。投書の際の要點のみを掲ぐ

■出舎に居る身の水彩畫研究者には尤も有効て尤も樂しかつた繪葉書競技會は先般來より休會となり實に落膽仕候、是非御都合遊ばし野黨の爲め從前通り御繼續下されたく候、在野同好の士奮つて御賛成を祈る(一紅)■一 競技會がなくなつて紙上が淋しくなつた様だから應募畫の大きさを十六切(ワツトマン)位迄にされては如何。二 水彩畫講習會を一度位東北地方で開催するも善さそうなものですがあまり無情ですな(陸前一一生)◎一 實行します御送り下さい。二 熱心なる希望者が多くして收支が償へば何處でも開きます、講師の報酬などはなくてもよろしい ■『みづゑ』二十三は大下先生が大奮發せられたので大成功、口繪の原色版は外國の美術品を見るの感あり鮮麗(赤坂虹生) ■口繪はやはり石版にせられたい(下妻KT生) ■『みづゑ』の口繪が原